

第2回公開ケア会議

議 事 次 第

日 時： 平成25年2月1日(金) 16:00～18:00

場 所： TKP 東京駅ビジネスセンター1号館 ホール 2A

<議 事>

開会

1. 公開ケア会議の目的と進め方について
2. 事例に基づく検討
 - (1)事例1
 - (2)事例2
 - (3)事例検討結果のまとめ
3. 今後の予定について

閉会

<資 料> ※個別事例の情報が含まれるため、資料4-1、4-2は会議終了後回収致します

- 資料1 : 議事次第
資料2-1 : 出席者一覧
資料2-2 : 席次表
資料3 : 公開ケア会議の目的と進め方について
資料4-1 : 事例検討用資料 (事例1)
資料4-2 : 事例検討用資料 (事例2)

第2回公開ケア会議 出席者一覧

(敬称略・順不同)

	氏 名	所 属 ・ 保 有 資 格
1	岡島 潤子	株式会社やさしい手開発本部地域包括ケア推進 参与、主任介護支援専門員、社会福祉士
2	緒方 有為子	株式会社北九州福祉サービス 統括部長、主任介護支援専門員、保健師
3	水村 美穂子	青梅市地域包括支援センターすえひろ センター長、主任介護支援専門員、看護師
4	桂 正俊	株式会社おたる企画 代表取締役社長、坂の街薬局 薬剤師、介護支援専門員
5	福田 裕子	ケアラーズジャパン株式会社 まちのナースステーション八千代 所長、看護師
6	村井 千賀	一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント推進プロジェクトリーダー、作業療法士
7	青木 文恵	株式会社日本生科学研究所 取締役副社長、管理栄養士、主任介護支援専門員
8	東内 京一	和光市保健福祉部長

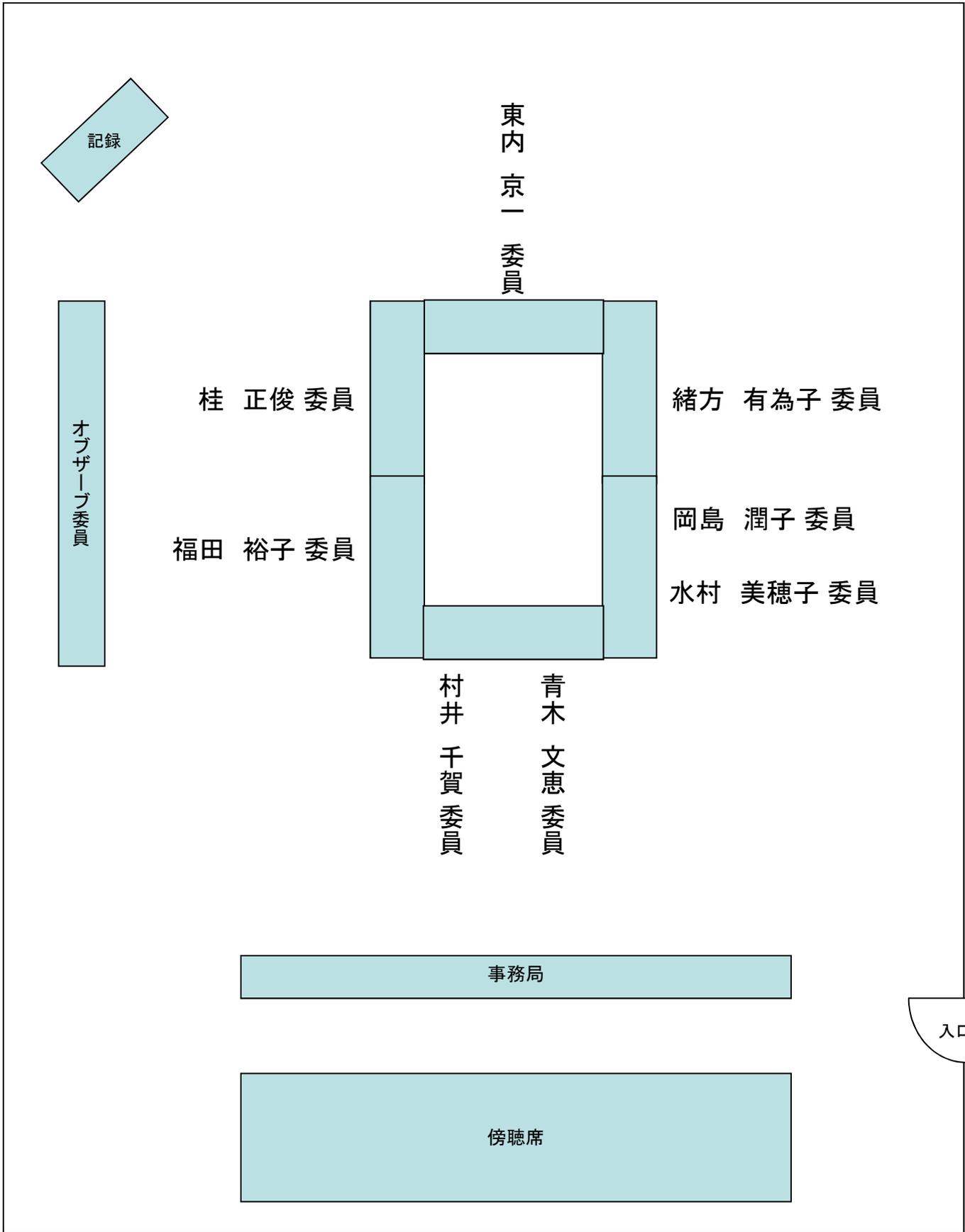
【オブザーバ】

1	田中 滋	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
2	北村 三千代	株式会社シルバーホクソン(川口市南平地域包括支援センター長)、主任介護支援専門員、福祉用具プランナー
3	福田 弘子	一般社団法人日本介護支援専門員協会 生涯学習委員会委員長、主任介護支援専門員
4	吉島 豊録	梅光学院大学 子ども学部 准教授
5	石田 光広	稲城市福祉部長

以上

第2回公開ケア会議 席次表

資料2-2



公開ケア会議の目的と進め方について

公開ケア会議の目的と概要

目的

- ケアプランの実態と課題について、具体的なケアプランと介護支援専門員(ケアマネジャー)の思考過程の事例に基づき、多職種の協働による公開の議論の場において、事例評価・検証を実施する。
- 事例評価・検証を踏まえて、ケアマネジメント向上のための改善方策を提案する。

方針

- 評価者は専門職とし、多職種により自立支援に向けたケアプランの評価・検証を行う。
- 公開ケア会議のメンバーは、事例に応じて、ケアマネジメント向上会議の委員から選定する。



自立支援のケアマネジメントに資する支援等を目的として、
多職種の視点から個別課題の把握及び
その解決方策(=ケア内容及びサービス内容)に関する意見を出し合い、
個々のケアプランを評価・検証することを目指す。

事例に基づく検討の具体的な検討手順

1. 事例紹介

- 発表者（担当の介護支援専門員から相談を受けた主任介護支援専門員）から、事例の概要と課題整理表を説明。
- 限られた時間で効率的に検討を進めるため、今回の会議で「検討したいポイント」を明確にしておく。

2. 意見交換

- 発表者から示された「検討したいポイント」に関して、以下の視点から当該ケアプランを改善する方策を検討する。
 - 〈視点1〉 **課題**の把握、優先順位づけは妥当か。修正するとすればどう直せば良いか。
（※現在の状況をもたらしている**要因**の分析と、**見通し**の妥当性の検証を含む）
 - 〈視点2〉 **目標**設定は具体的か。修正するとすればどう直せば良いか。
 - 〈視点3〉 課題と目標に照らして**サービス内容**が妥当なものとなっているか。
修正するとすれば他にどのようなサービスの選択肢を考えるべきか。
- 続いて、事前に設定した「検討したいポイント」以外についても、指摘すべき事項があれば、上記3つの視点を踏まえて検討を加える。
- さらに、上記の検討を踏まえて地域の課題として捉えるべきことがあれば検討する。
（※制度全体に関わる課題は「ケアマネジメント向上会議」の中でさらに詳しく検討する）

3. まとめ

- 最後に、司会進行役が指摘された意見を取りまとめ、「当該ケアプランの改善のための意見」と「地域課題に関する意見」に整理する。